

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 酒井孝哉 宝塚医療大学 准教授

研究要旨 疾患別リハビリテーション終了後の高齢者の状態を評価し、疾患別リハビリテーションから維持期・生活期リハビリテーションへの一貫した効果的なリハビリテーション方法を確認し、標準化した手引きを作成することである。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

様々な診療領域の専門家により既存のエビデンスを整理し、介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためのガイドラインを作成することである。また高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾病領域の医師や、医師以外の医療職種がエビデンスに基づき介護保険制度の元で適切なリハビリテーションの提供ができるようにすることである。

B. 研究方法

疾患別の維持期・生活期リハビリテーションに関する、PRISMA声明に基づいたシステマティックレビューを行い、エビデンスの収集と評価を行う。

(倫理面への配慮)

該当なし

C. 研究結果

システマティックレビューを行った。キーワードはPatient / Participan / Problemが20、Interventionが23、Outcomeが34のワードで検索した。対象は15,572編となった。一次スクリーニングにより14,673編、二次スクリーニングにより974編が該当した。現在は二次スクリーニングで該当した論文に関し全文の確認と選定を実施中である。

D. 考察

システマティックレビューチームを設置した。メンバーで複数の診療ガイドラインを選定・購入、そして内容に関して検討を実施し、キーワードの絞り込み作業と確認を実施中である。

E. 結論

現在は二次スクリーニングを終了した段階である。そのため、エビデンスの整理は未実施の段階である。今後、グループによるエビデンスの整理が終了後、グレーディング、推奨レベルを検討する。

F. 健康危険情報

該当なし

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし